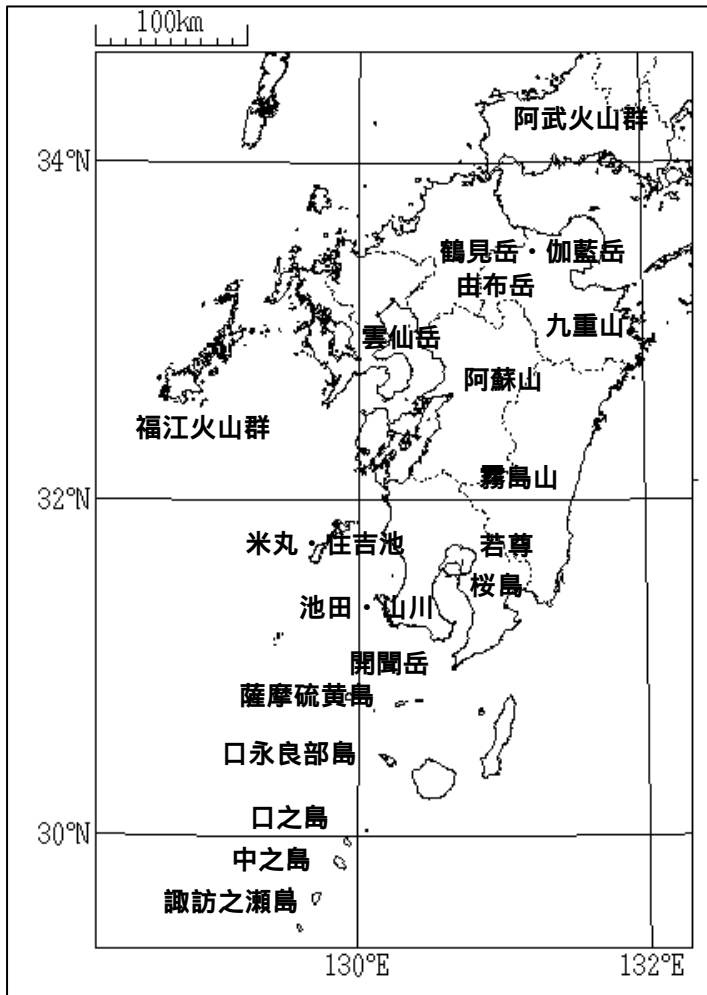


九州地方の火山活動解説資料(平成 17 年 2 月)

福岡管区气象台
火山監視・情報センター

山口・九州地方の火山



- ：噴火した火山
- ：観測データに変化があった火山
- ：解説を記載した火山
- ：その他の火山

：諏訪之瀬島(火山活動度レベル 3 (小規模な噴火が発生))

噴火が4回発生するなど、火山活動は活発でした。爆発的噴火はありませんでした。22日と28日に集落で降灰がありました。

：阿蘇山(火山活動度レベル 2 (やや活発な火山活動))

火山活動はやや活発な状態が続きました。7日の現地観測において、湯だまりの中央部で高さ約5mの土砂噴出を観測しました。14日の現地観測では、中岳第一火口の湯だまりの量は、それまでの約5割から約4割に減少し、湯だまりの色は灰緑色から灰色に変色しています。湯だまりの温度は70以上の高い状態が続いています。

孤立型微動は、1日あたり31~142回発生しています。B型地震はやや多い状態で推移しました。継続時間の短い火山性微動は、期間中4回発生しました。

：霧島山(火山活動度レベル 御鉢 2 (やや活発な火山活動)、新燃岳 1 (静穏な火山活動))

御鉢では、火口内の噴気が火口縁上に時々上がるなど、やや活発な状態が続いて

います。噴気高度の最高は、火口縁上200mでした。火山性地震の発生は少なく、火山性微動は発生しませんでした。

新燃岳では、火山性地震の発生は少なく、火山活動は静穏でした。

：桜島(火山活動度レベル 2 (比較的静穏な噴火活動))

噴火はありませんでした。火山性地震の発生は総じて少ないなかで、A型地震の多い状態が続いています。また、GPS観測では、昨年11月頃から各観測点間の距離の伸びが加速する傾向が見られます。今後、火山活動は活発になる可能性があります。

：口永良部島(火山活動度レベル 2 (やや活発な火山活動))
 火山性地震、火山性微動ともにやや多く、新岳周辺の噴気量が増えるなど、火山活動はやや活発になっています。

：薩摩硫黄島(火山活動度レベル 2 (やや活発な火山活動))
 噴火はありませんでしたが、火山性地震が増加した日があるなど火山活動はやや活発でした。

：九重山(火山活動度レベル 1 (静穏な火山活動))、雲仙岳(火山活動度レベル 1 (静穏な火山活動))
 火山活動に大きな変化は認められず、静かな状態が続きました。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表日時	概要
阿蘇山	火山観測情報第5号	4日 11時 05分	火山活動やや活発(火山活動度レベル2)。本日の中岳第一火口の状況は、天候不良のため不明。1月30日に湯だまり内で土砂噴出を観測。火山性地震のやや多い状態が続いている。
	火山観測情報第6号	10日 11時 00分	火山活動やや活発(火山活動度レベル2)。7日の現地観測では、中岳第一火口の湯だまりの量は約5割、色は灰緑色、表面温度は74。湯だまりの中央部で高さ約5m、数ヶ所で高さ1~2mの土砂噴出を観測。火山性地震のやや多い状態が続いている。
	火山観測情報第7号	18日 11時 00分	火山活動やや活発(火山活動度レベル2)。14日の現地観測では、中岳第一火口の湯だまりの量は約4割、色は灰色で、表面温度は71。湯だまりの南西側で高さ1~2mの土砂噴出を観測。火山性地震のやや多い状態が続いている。
	火山観測情報第8号	25日 11時 00分	火山活動やや活発(火山活動度レベル2)。23日の現地観測では、中岳第一火口の湯だまりの量は約4割、色は灰色、表面温度は73。湯だまりの中央部と西側で高さ2~3m、南西側で高さ1~2mの土砂噴出を観測。火山性地震のやや多い状態が続いている。

口永良部島	火山観測情報第 7 号	4 日 14 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。火山性地震のやや多い状態が続き、継続時間の短い火山性微動が時々発生。
	火山観測情報第 8 号	10 日 15 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。火山性地震のやや多い状態が続き、継続時間の短い火山性微動が時々発生。新岳火口底や火口外の噴気量が増加している。
	火山観測情報第 9 号	18 日 14 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。火山性地震のやや多い状態が続き、継続時間の短い火山性微動が時々発生。
	火山観測情報第 10 号	25 日 14 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。火山性地震のやや多い状態が続き、継続時間の短い火山性微動が時々発生。

九重山、霧島山、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島では、2月1日に火山活動度レベルの提供開始をお知らせする火山観測情報をそれぞれ発表しました(上表では省略)。

次回の火山活動解説資料の公表は4月11日(月)の予定です。

各火山の詳細については、気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)でご覧いただけます。

気象庁 HP 「気象・海洋・地震・火山の資料」「火山の資料」 定期刊行物「火山活動解説資料」

(http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm)